

①規格外や低未利用品の有効活用

高糖度かんしょ「べにはるか」の規格外品を活用した、ペースト、パウダー等 介護・医療向け食品の開発・販路開拓

高糖度のかんしょ「べにはるか」の規格外品を加工して、栄養・機能性を高めた介護・医療向け食品を開発する。

➤ 連携体

農林漁業者 有限会社 衛藤産業 農業部門(農業)

高糖度かんしょの生産・貯蔵ノウハウを活かして、規格外品の業務加工用貯蔵と適正保管・記録・出荷を行う。

中小企業者

株式会社豊後大野クラスター(食料品製造業)

多様な加工設備と受託加工経験・ノウハウを活かして、規格外品の加工と自社品開発・業務用提案販売を行う。

連携参加者

大分県農業協同組合 豊後大野事業部(協同組合)

組合員を中心としたネットワーク・ノウハウを活かして、規格外品不足時における補完、生産・加工・販売等助言を行う。

サポート機関等

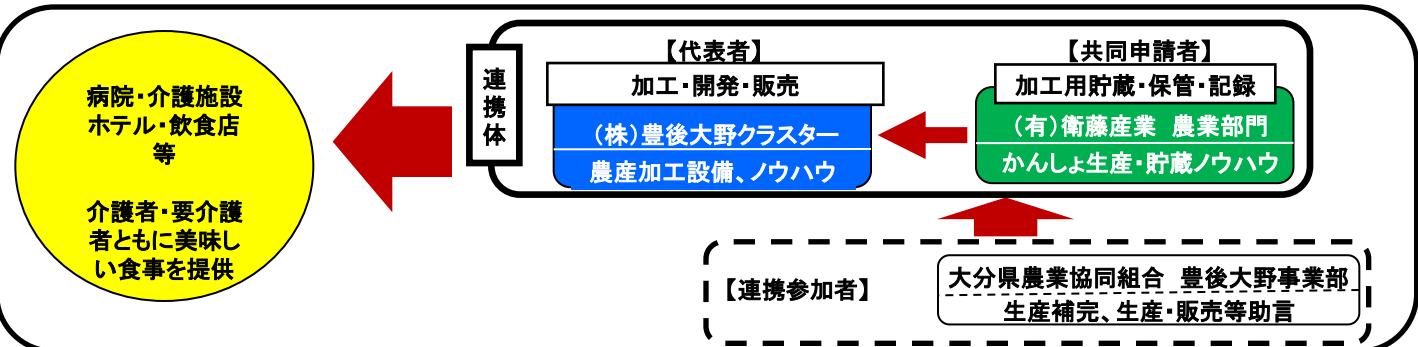
地域活性化支援事務局、公益財団法人大分県産業創造機構

➤ 連携の経緯

委託加工が中心の現状から、自社品を開発し更なる付加価値の拡大を課題としていた(株)豊後大野クラスターと、かんしょ「べにはるか」を長期貯蔵し、ブランドかんしょ「甘太くん」を生産しているが、規格外品の活用が課題だった(有)衛藤産業農業部門が、日常的な取引関係があるなかで、農産加工による付加価値向上と地域活性化を目標に連携に至った。

➤ 連携に当たっての課題や工夫等

介護・医療向けかんしょ加工品は、砂糖や、食品添加物が含まれているものが多い。一方で、厨房での裏ごし等調理は、作業と調味が煩雑で、栄養バランスの良いかんしょを食する機会を損ねていた。当事業では、高糖度かんしょ「べにはるか」に糖分と食品添加物を加えず加工し、茎葉部(けいようぶ)を活用することで、美味しく栄養豊かな介護・医療食として、かんしょの加工品を提供するものである。



➤ 連携による効果

農林漁業者 売上高: 0円(平成25年)→600万円(平成30年目標)

規格外品流通による収益向上、新販路取組による農産品ブランド価値向上、若者の就農機会拡大等が期待される。

中小企業者

売上高: 0年(平成25年)→3000万円(平成30年目標)

自社開発品の生産、販売による設備稼働率の向上、新販路の獲得による、既存事業との相乗効果等が期待される。

➤ 代表企業等の連絡先

企業等名 : 株式会社豊後大野クラスター	所在地 : 大分県豊後大野市三重町宮野4845番地
T E L : 0974-22-0772	F A X : 0974-22-0752
E - m a i l : b.cluster@oct-net.ne.jp	ホームページ : http://b-cluster.jp/